

令和6年度(2024年度)第3回南大沢中学校区地域づくり推進会議 議事概要

日時	令和6年(2024年)10月19日(土) 9:30~11:00
場所	南大沢中学校 3階 家庭科室
出席者	司会:柿島 参加者:久保田、塩田、高津、高橋、廣田、福澤、吉村 見学者:東京都立大学学生 中塚 はちまるサポート:柏原 経営計画課地域づくり担当:新納、伊東、石川
配布資料	第3回南大沢中学校区地域づくり推進会議資料

第1部

1 開会

情報まどぐちグループ柿島氏が司会役を務めた。

2 事務局からの報告 「地域づくり推進基本方針改定版(2024)」のパブリックコメント実施について
第2回南大沢中学校区地域づくり推進会議資料に沿って説明した。

3 南大沢中学校区における情報(課題)共有・つながりづくり Ex.清水入緑地など

4 みんなにシェア・みんなでシェア(団体等における活動やお困りごとなどの共有)

(司会・柿島氏)

情報や課題の共有、つながりづくり、つながることで新たなコラボレーションを生むことが、推進会議の大きな役割であるため、

- (1)参加者の皆様それぞれが行っている取組について、「もっとこういう風にできないか」、「課題にどうアプローチしていけばいいか」など、推進会議のメンバーの意見を聴いたり、相談したいこと
- (2)南大沢中学校区において、新たにつながり、お互いを知ることで、新たなコラボレーションに繋がったり、楽しいことができるかもしれない人や活動
- (3)それぞれの活動の現状

などについて意見を募りたい。

(参加者の意見)

○清水入緑地について

もとは、どんぐりの会がやっていた活動に対して“地元のメンバー”として参加、推進会議がきっかけとなり、一部のメンバーが参加したことは、新たなコラボレーションと感じる。

イベントとセットで募集すると多くの人が集まるが、通常の整備のみの活動では集まりが少ない。

“地元組”として活動しているが、運営側の一部の人に重要な役割が増えてしまっているのが今後の課題と感じる。

また、ゆるやかなつながりを重視すると、結果としてやらない人が増えるというようなことが、継続性を考える上での課題とも感じている。このことは、他の団体の活動でも共通の課題なのではないか。

清水入緑地の活動に限らず、何か意見があれば聞きたい。

⇒(市)活動の中で楽しさの要素を入れると活動メンバーが少し増えるかも(CCC:Cleanup Coffee Clubの取り組みを紹介)

⇒(市)木材の活用について、「小津倶楽部」を紹介。

⇒(市)10/13 の活動には3名くらいの子どもの参加があったが、子どもたちの参加があると楽しくなるねといった声があった。子どもの参加といったところでは、この地域のボーイスカウトなどと連携してみるのはいかがでしょうか。
⇒少し前は、小学生が授業の中で整備をしていたこともあった。先生の考え方によっては、こちらも期待できないか。

○こども食堂・こどもの居場所について

こども家庭庁の取り組みで、子育て家庭に食料を配布する事業について、配布先を募集している。有資格者が食料を直接配達することで、支援が必要そうだが子ども食堂などにも自主的に来ないお子さんを見つけることができる側面がある。

バラエティクラブでは、夏休み期間約40日間、毎朝ごはんタイムを行った。開所時間前から子どもたちが来ていた。

○南大沢小学校の防災訓練について

訓練は午後3時からで、防災体験として避難所開設訓練などを40名ほどの参加で実施予定。午後6時から夜の学校で炊き出しや暗闇体験、避難所宿泊体験などを初めて実施する予定で、こちらには6家族程度の参加予定。

⇒防災訓練とはあまり関係ないが、周辺にはヤマザキ動物看護大学や全薬工業などがあるが、南大沢小学校では周辺の企業などと連携しているようなことはあるのか。

⇒(市)防災訓練で、ヤマザキ動物看護大学と連携してペットの同行避難訓練などもできるかもしれない

⇒今の校長が、隣接している企業などと連携を図っているようだ。

○南大沢中学校と柏木小学校における合同防災訓練について

南大沢中と柏木小は11/3に合同で防災訓練を実施予定。消防団の放水、起震車、給食調理師が給食室を使って作るカレーの炊き出しなどを行う様子。

⇒(市)他の防災訓練では、消防署に協力していただいて、はしご車に乗せてもらえる訓練を実施しているところや煙ハウスの体験訓練を実施しているところもある。由木分署などに確認してもよいのではないかと

⇒南大沢小のところでも話したが、ヤマザキ動物看護大学や保健所と連携してペットの同行避難訓練などを実施してもいいかもしれない。

⇒南大沢小、南大沢中、柏木小の3校合同ではやらないのか。

⇒市からは合同で行えないかといわれている。実際、3年前は3校合同で訓練を行っていたが、打ち合わせや準備が大変だったことから現在は分かれて実施している。

○大栗川公園でのキャンドルリバーについて

今年も11/16に実施予定。サポーターは100名ほどいるが、自主的に動いてくれるのは2割程度。

工学院大学・中央大学・東京工科大学・東京薬科大学の学生さんなどに手伝っていただく予定。

コロナを機に都立大のボランティアセンターの活動が消極的になっているように思えるが、実際はどうか。

⇒定期的な活動としては、松木日向緑地の整備のグループとスポーツプログラムのグループがあり、それらは動いている。

大栗川公園の夏祭りにもボランティアセンター経由で参加してくれた人たちがブースを作ってくれていたのだから、大丈夫ではないか。

○ぼまる場について

今年度は、キリン福祉財団の支援を受けているため、報告会を2/24に南大沢文化会館で予定していて、子どもたちが作った作品の展示も行う予定。手伝っていただける方がいると助かる。

ぼまる場は毎週月曜日に実施しているが、利用する子どもたちが増えている。高橋さんに 40 人分の食事を作っていただくなど、助けていただいている。子どもと接する人が足りていない。
⇒都立大の学生やボランティアサークルに声掛けをしてもよいのでは。

○小中高生に対する学習支援について

団地の集会所をお借りして週1回 18:00~20:00 に小・中・高校生に対する学習支援を行っているが、トイレが男女兼用なのが使いにくいという声を聴いている。ぼまる場の利用者からはそのような声はないか。

⇒使いづらいという声はあるが、誰かが使っているときには、入らないようにするなどの工夫はしている。

⇒南大沢町会が管理している南大沢会館はどうか

周辺企業の施設などは難しいか

○はちまるサポートの活動について

昨年度の活動報告書をまとめたということで、報告いただいた。

第2部

5 プロジェクト毎の話し合い・共有

第1部での話し合いを充実させたため、今回は実施しなかった。